



北里大学東洋医学総合研究所 漢方医学研修プログラム概要

【漢方レジデント】

1. 名 称

学校法人北里研究所 北里大学東洋医学総合研究所 漢方医学研修プログラム
(漢方レジデント)

2. プログラムの目的

本プログラムの目的は、漢方医学に関する幅広い知識と高度な技術を身に付け、東洋医学の基本であるところとからだを総合的にみて、心身一如の全人的医療を実践できる漢方専門医を育成することである。本施設は、我が国最初の総合的な東洋医学の研究・診療施設として開所以来、保険制度にとらわれず、国内で実践できる最高レベルの漢方診療施設として、煎じ薬を中心とした診療を行っている。漢方薬の基本である煎じ薬を中心に学ぶことにより、漢方の真髄ともいべき随証治療が出来るようになることを目標とする。東洋医学と現代医学の相互の長所を取り入れて、患者様にとって最も適切な質の高い医療を行うことが出来るようになる。また、研究に於いては、臨床・基礎に拘らず立案・遂行出来るようになり、科学的な態度で伝統医学を解明できる医師になることを目標とする。

3. プログラム内容

- (1) 月曜日から土曜日（午前）までの漢方診療日を全日出席する研修を漢方レジデントコースとする。
- (2) 本プログラムでは、指導医・漢方レジデント体制（マン・ツー・マンまたはそれに準じる体制）をとっており、指導医が担当になった漢方レジデントの指導に当たる。具体的には指導医の外来陪席、個別の勉強会などである。組み合わせは6か月毎に代わる。
- (3) 外来陪席については、教授と指導医の外来に陪席し、患者の診察方法、診断方法、治療技術を学ぶ。診療時間帯に気づいた疑問点などは診療後や新患検討会において討議する。教授の外来は、初診外来と再診外来に分かれており、週に1回の初診外来には全員陪席し、再診外来には交代で陪席する。
- (4) 漢方の知識ならびに医学的知識を高めるため、所内の勉強会に参加し知識向上に努める。
 - 1) 医局薬局勉強会 【月曜日（年9回）】
医局と薬局が合同で生薬について学ぶ。実際の処方・生薬の試飲も行う。
 - 2) リサーチカンファランス 【第4又は2月曜日】



臨床研究部、鍼灸診療部と合同で、研究、自分の研究の進捗状況などを報告し、質疑応答を行う。

3) 新患検討会 (症例検討会) 【毎週月曜日】

前の週に来院した新患の漢方・現代医学的チェックを行い、症例に関するディスカッションを行う。

4) その他

(5) 漢方研修の一環として、鍼灸研修も行う。詳細は鍼灸医学研修プログラムを参照のこと。

(6) 研修初期に薬局研修を行い、漢方調剤の基礎を学ぶ。

薬局研修では、実際処方箋に基づいて調剤することを学ぶ。

(7) 研修開始約3か月後から12か月後より外来を担当し、実践的に漢方の診察・診断・処方技術を学ぶ。これに先立って試験などの評価を行い、その到達度によって外来開始時期を決定する。

(8) その他

1) 上記以外でも必要と思われる東洋医学に関する勉強会・研修会は適宜に行う。

4. 研 究

臨床研究部、臨床試験管理室の協力の下、漢方レジデントの専門、興味も勘案し、本施設で行っている研究（または関連した研究）に、基礎、臨床を問わず参加することを原則とする。

5. 関連学会等

研修開始までに日本東洋医学会への入会・専攻医の登録は必須とする。

6. 教育体制

(1) 教育責任者 小田口 浩 (所長)

(2) 指導者リスト

花輪 壽彦 (名誉所長)

伊藤 剛 (北里大学客員教授)

鈴木 邦彦 (漢方診療部 部長)

星野 卓之 (漢方診療部 副部長)

森 裕紀子 (漢方診療部 副部長)

川鍋 伊晃 (漢方診療部 副部長)

石毛 達也 (漢方診療部 医長)

五野 由佳理 (漢方診療部)



7. 研修期間

当プログラムの研修期間は原則として2年間とする。希望者には研修期間を3年間に延長可。1年終了のものは2年間の陪席、2年終了後は1年間の陪席と、外来診療の継続も可。ただし、1年毎に評価を行い、その評価などにより原則期間以前に終了することもある。

8. プログラム管理体制

(1) 漢方医学研修に関する教育委員会の構成と運営方法

漢方診療部責任者と各教育指導者により構成される。

1名の教育委員長が置かれ、教育委員会の司会進行をつとめる。

検討項目は、漢方研修全般にわたるが定期的に漢方レジデント評価や指導者評価も行い、プログラム内容の改善も適宜検討する。

(2) 漢方レジデントの就業規定、顕彰、処罰規定

漢方医学研修プログラムの修了年限は原則2年であるが、漢方レジデントの就業規定は、別途定める学校法人北里研究所就業規則及び北里大学東洋医学総合研究所研修生取扱規定に準ずる。これらに照らして著しく言動等に問題のある場合、研修意欲が著しく低下したと認められた場合は、教育委員会の上申に基づき北里大学東洋医学総合研究所（以下：東医研）運営会議で審議の上、戒告や処罰が行われる。

(3) 採用方法

[漢方医師レジデントプログラム応募要領](#)を参照のこと。

(4) 研修資格

1) 医師免許を取得し、医師の資格を有する者。

2) 初期臨床研修終了後、他の診療科において後期研修を終了し、基本領域（内科、外科など）学会の認定医あるいは専門医を取得した者（日本東洋医学会漢方専門医の取得条件を満たす者）。


上記条件の者が、所定の書式により応募を行い、採用試験（面接を含む）を経て採否が決定される。

9. 研修医定員

各年度の状況により適宜定め、最大2名とする。

10. 研修医評価

漢方レジデントは日本東洋医学会専門医研修カリキュラムに沿って適時到達目標の到達度を自己評価し、指導医等の評価も受けた後、半年毎に教育委員会に提出する。漢方レジデントの評価にあたっては、カリキュラムの達成度のみならず、症例呈示や問題解決能力、病歴要約能力なども勘案され、勤務態度や



協調性、責任感・誠実性なども評価の対象となる。東医研勉強会の出席状況等も考慮される。

教育委員会では、カリキュラムの進行状況を検討し、適時研修方法の改善を図り、プログラム達成に向けて鋭意協力する。

1 1. プログラム修了の認定

規定プログラムを修了した者については、上記研修評価記録を踏まえ、当初の到達目標に至ったか否かを教育委員会で討議し、最終的な修了認定を行う。

1 2. 研修の途中での中断に伴う研修証明書について

本人の事情により研修の途中で中断をされた場合、本人が研修証明書の発行を希望すれば発行する。

1 3. 処 遇（給与・研修費）

学校法人北里研究所 嘱託職員給与規定により有給とする。

以上